

土木学会全国大会「土木学会 百周年記念討論会」

「次の100 年に向けて土木技術者の果たすべき役割とは」

1. 目的

2014 年 11 月 24 日に、公益社団法人土木学会は創立 100 周年を迎えます。この 100 年の間、わが国をとりまく環境は大きく変化し、土木界・土木学会に求められる社会的な要請もまた大きく変化してきています。土木学会は、100 周年を迎えるにあたり、この変化の中で、これからの土木が何をビジョンとし、何をすべきか考え、また、その結果を行動につなげていくために、「百周年記念討論会」を全国大会において開催しています。

土木学会の全国大会は、全国から延べ 2 万人を超える人が集まる大きな大会であり、会員間の意見交換や情報共有を行う絶好の機会となっています。この機会を活かし、2010 年には『「土木」の原点と百年』、2011 年には『市民工学への回帰』、2012 年には『土木界・土木学会は、これまで何をしてきたか、これから何をすべきか』というテーマで議論を行ってきました。

本年は、『次の 100 年に向けて土木技術者の果たすべき役割とは』というテーマを掲げ、未来社会に向けて土木技術者が果たすべき役割について他分野の技術者とともに語り合う討論会を開催します。

2. 日時

2013 年 9 月 5 日（木） 9:00 ～ 12:00

3. 場所

日本大学生産工学部津田沼キャンパス 37 号館 101 教室（定員 400 名）

4. 時間割

09:00 ～ 09:20 基調報告「土木学会 100 周年事業について」

藤野 陽三（土木学会 100 周年実行委員会委員長）

09:20 ～ 09:50 支部報告「支部の 100 周年に向けた取り組みと土木技術者の役割（仮）」

3 支部代表者

09:50 ～ 10:00 （休憩）

10:00 ～ 12:00 パネルディスカッション

テーマ『次の 100 年に向けて土木技術者の果たすべき役割とは』

<コーディネーター>

屋井 鉄雄（土木学会将来ビジョン策定特別委員会副委員長、東京工業大学大学院教授）

<パネリスト>

松本 高弘（有限会社松本社寺建設 代表、宮大工棟梁）

大木 聖子（慶應義塾大学環境情報学部准教授、地震学者）

橋本 鋼太郎（土木学会会長）

藤井 聡（京都大学大学院教授、内閣官房参与）

柄谷 友香（名城大学大学院准教授）